

雲仙ロープウェイ

1957年に開通した雲仙ロープウェイは、仁田峠から妙見岳山頂まで500mの距離、174mの高度をわずか3分で上ります。ゴンドラの左側からは、日本で2番目に古いゴルフ場や、雲仙温泉町、南島原市など、半島の南西部を一望することができます。右側からは今もなお山面に火砕流の爪痕を見ることができますが、荒れ地で少しずつ根を張りつつある植物が増えてきています。ロープウェイの山頂側の駅の近くには、山登りの前に登山者が参拝に向かう神社や、景色を360度見渡すことができる展望台、半島の全景をあらわした駅構内のジオラマなど、観光スポットがいくつかあります（ロープウェイの営業時間は季節や天候によって異なります。運賃は片道630円となっています）。